

我南小発 第2号

令和5年4月20日

我孫子市教育委員会 へ

我孫子市立布佐南小学校学校運営協議会
会 長 志垣 健二郎

令和5年度 第1回学校運営協議会 会議報告書 このことについて、我孫子市学校運営協議会規則第12条の規定により、次のとおり報告します。

出席委員名 【布佐中】 鈴木伸樹、森政俊光、肥後真理子、篠崎和彦、香取武
山下正信、佐藤秀範、松下紀、渡里里美、比江島眞友巳
【布佐小】 小林道治、石川清隆、日景翔大、鈴木治男、小島茂明、鈴木高士
番場朋子、沼尻和江、遠藤絵里香、板倉 博
【布佐南小】 佐々木祐子、山田恭生、糸賀貴之、志垣健二郎、駒場アサ子
川村 武、吉岡朋久、新堀 都
記録者 氏名 肥後真理子（布佐中教務主任）

(令和5年 4月19日実施)

主な議事	発言者	協議・発言等の概要
※3校合同での実施 1. 開式のことば 2. 各校会長、副会長の確認	布小校長	布佐小学校 会長 鈴木治男 副会長 遠藤絵里香 布佐南小学校 会長 志垣健二郎 副会長 川村武 布佐中学校 会長 篠崎和彦 副会長 山下正信
4. 布佐中学校区運営協議会会長、副会長の確認		会長 篠崎和彦（布佐中） 副会長 鈴木治男（布佐小） 志垣健二郎（布佐南小）
5. 新任校長挨拶		布佐中 鈴木校長、 布佐南小 佐々木校長
6. 協議等 ①自己紹介 ②代表校長挨拶	布中校長	議長（布佐中区会長 篠崎和彦）

<p>③布佐中学校区小中一貫 グランドデザイン説明 (R4末に済)</p> <p>⑤質疑及び意見交換</p>	<p>委員より</p>	<p>○令和4年度の課題に対する回答を願いたい。 ○挨拶運動の日程の詳細を示してほしい。 ○協議会の資料は、遅くとも1週間前には配付願いたい。他校の資料も同様。 △課題に対する回答はまとめたものを改めて配付する。 △挨拶運動については、これから詰めていく。 △資料の配付の件は、承知した。</p>
<p>⑥諸連絡</p>		<p>○今後の予定について 第2回6月28日(水) 第3回11月6日(金)・・・各校 第4回3月6日(水)・・・布佐中</p>
<p>※以下、布佐南小のみ</p> <p>1 会長選任</p> <p>2 校長挨拶</p>		<p>○志垣委員選出</p> <p>○校長挨拶 ・今年度は、新1年生23名を加え、児童数153名でスタートした。 ・今までの取り組みを継続しつつ、新たな視点で子ども達を育んでいきたい。</p>
<p>3 今年度学校経営方針</p>	<p>校長</p>	<p>○経営方針、経営重点について資料をもとに説明 ・学校経営にあたっての合言葉の説明。 『「笑顔」と「活気」』『「少数精鋭」～やってみよう～ ・「少数精鋭」は、1人1人を大切にし、子どもたちを育むための教員側の心構えとして今後は捉えていく。</p>
<p>4 今年度の職員構成及び学校行事予定及び日程について</p>	<p>教頭 教務</p>	<p>○職員構成、教育課程、学校行事等について資料をもとに説明 ・大きな行事の実施予定 ・日課表の時程変更 ・今年度から実施する学団打ち合わせを効果的に活用して、教職員同士の共通理解を図りたい。</p>
<p>5 協議(助言・提言等)</p>	<p>委員 教頭</p>	<p>・第1回の学校運営協議会の実施時期を検討してみても、学校の4月はとにかく忙しい。無理のない時期にした方がよい。 ・第1回目を3校合同で行う必要はあるのか?1回目こそ、それぞれの学校で開催すべきでは? ・確かに学校の4月は忙しい。それでも、4月に第1回</p>

	<p>を行うには意味がある。年度の方針を確認し合い、新たに学校・地域・保護者が一歩踏み出すための会である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3校合同で第1回を行うことで、中区の共通理解を図ることができるという意図がある。 ・学校に無理がなければ、自校以外の資料も是非ほしい。
委員	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーチャイムの取り組みは、とてもよいと思う。高校ではあるが、ノーチャイムを実施している学校があり、成果を上げている。 ・そのためには、教室だけではなく、廊下等にも時計があるとよい。
教頭	<ul style="list-style-type: none"> ・予算に応じて検討する。
委員	
校長	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化が進み、子どもたちの可能性が広がり考え方の多様化が顕著である。人格形成には、より一層の自己肯定感の高まりが必要となるであろう。 ・できるだけ、小学校課程の段階で、個々にあった支援により自己肯定感を高める教育を期待する。 ・個別最適な学びの確保に向けて、協働的な学習を取り入れながら、教職員の研修を充実させ、よりよい授業づくりを進めていく。
教頭	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の学校において、実に子どもたちや家庭の考え方は多様である。多様なニーズに応じた教育活動は、現在も実施している。ある児童には適切な支援も、ある児童には適切ではないケースもある。それは家庭も同じ。個に応じた支援を今後も続けていく。 ・今年度は、教務主任が支援級担任も兼ねている。全体を動かす教務主任が個の支援にあたるということは、学校全体に個に応じた支援の観点を取り入れていけるということ。そのことを、学団打ち合わせを効果的に活用して、全職員に浸透させられればよい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・時代が変わった。わがままと自由の違いについては、考えさせてほしい。 ・地域の挨拶活動については、今後、どのようにしていくことが望ましい考えるか。
教頭	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶は、素晴らしい取り組み。南小の誇り。継続をお願いしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に求めるものは、子どもが目を輝かせて生活すること。子どもたちのいいところ探しをしてほしい。その姿勢が保護者に伝わればよいと思う。 ・先生たちには楽しそうできてほしい。単学級の大変さは理解できる。多くの職員で助け合うことの難し

6 閉式	<p>校長</p> <p>委員</p> <p>委員</p>	<p>さがあると思う。学団打ち合わせはよいアイデアである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校に求められることは多い。職員が疲弊しないように配慮したい。 ・まずは、やってみて少しずつ地域と共に活動する場を作っていきたい。 ・地域の方々に学校の研修室をいつでも使ってほしい。 ・人が変わっても地域で子どもたちを育ていけるような基盤づくりをしたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育がどの位浸透しているのか知りたい。そのような保護者の意見を聞き取る場があるとよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・全員拍手にて承認
------	-------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

傍聴人 0 人